キャラクター名
風間　緑郎/かざま　ろくろう　(愛称：ロック)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス エンジェルハィロゥ	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	商社マン
オプショナル		年齢	25	性別	男
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32 %
出自	親戚と疎遠	経験	秘密	邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	5	1	0			6
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	23
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
武器名						購入/常備化/種別/技能/解説
ハンドレットガンズ		0	0	LV+4		ー/ー/射撃/〈射撃〉/ー
コンボ名/現在侵蝕率						C値/対象/侵蝕値/組み合わせエフェクト/その他
ショウダウン/侵蝕率：~59	射撃	5r+1	0	7		8/単体/3+4+5/7/装甲値無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
アイテム名	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
春日 恭二/ｶｽｶﾞ ｷｮｳｼﾞ	P 執着	N 嫌気		
ｱﾙﾌﾚｯﾄﾞ・J・ｺｰﾙﾄﾞｳｪﾙ	P 尊敬	N 脅威		
テレーズ・ブルーム	P 同情	N 不快感		
風間　悟/親戚	P 尽力	N 偏愛		
硲　国重	P 好奇心	N 劣等感		
ヴァネッサ・C・バルザック	P 信頼	N 無関心		
長島 伝麓	P 有為	N 不信感		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
サポートデバイス	5	6	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果：	ラウンド間【感覚】のダイス：+(LVx2) 1シナリオ3回まで							
ハンドレットガンズ	1	3	マイナー	至近	自身	自動	ー	
効果：	射撃武器を作成							
コンセントレイト：Mo	2	2	メジャー	ー	ー	ー	ー	
効果：	C値：-LV(下限値7)							
小さな塵	1	2	メジャー	ー	ー	対決	ー	
効果：	攻：+[Lv×2]							
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	ー	対決	ー	
効果：	装甲無視 ダイス：-1							
マスヴィジョン	5	4	メジャー	ー	ー	対決	100↑	
効果：	攻：+(LVx5) 1シナリオ3回まで							
サイコメトリ	1	2	メジャー	ー	ー	ー	ー	
効果：	すべての〈情報：〉判定のダイス：+(LV+2)							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

使用書籍：基本ルールブック1、2
初期作成経験点：130
作成方法：フルスクラッチ

総獲得経験点26 使用経験点 残点6点
経験点使用内約
・サポートデバイス　2LV上昇　10点
・マスビジョン　　2LV上昇　10点

「お望みどおり月まで吹っ飛ばしてやったさ、イカしたショウダウンだろ？大当たりだ、ざまァ見ろ」

彼は常にその内面に鬱屈とした怒りを抱えて生きてきた。両親は彼が幼い頃に飲酒運転に巻き込まれて死亡した、当の加害者は自分は悪くないとへらへら主張していた。そして遺された彼は親戚の間をたらいまわしにされていった。両親の言っていた通り「いい子」にしていただけなのに。それでも、大人の目から言えば子供なのに欲も言わず、我儘を叫ばず、アルカイックスマイルを浮かべたままただただ言うことを聞く彼の事を不気味に思った。次第に親戚と疎遠になっていった彼はしかし、まだ幼く。子供らしく愛情を無意識に求めたが故により「いい子」であろうとして大人に好かれようと必死になって、そしてだからこそ…疎まれた。
言うとおりにしていたのに、どうして、どうして。内心を渦巻く怒りが自分を認めてくれない全てを壊したい、そんな破壊衝動に移り変わるのにさほど時間を要することはなかった。そんな時に彼を引き取る事になった最後の親戚は彼を実験の素体として提供した。「いい子」の彼はそんな事すら拒否せずに実験を受け…そしてその身にレネゲイド・ウィルスを宿すオーヴァードになった。そう成って初めて気づく。
彼は自由だ。これまでの自分とは違う。自由を代償に窮屈な安寧を得ていたころとは。安寧は失せ、何時か路地裏で野垂れ死んで野犬の餌になるかもしれない。そんな獣の匂いの染み着いたものでも…それでも、自由なのだ。だからこそ、そこには束縛も何もない。純粋な自由がある。いい子である必要なんかどこにもない、もう両親にも縛られなくていい。善も悪もモラルも生きざまも何もない。